

日本学生支援機構奨学金について

令和6年4月25日 教務部奨学金係

①奨学金は何のために借りるのか？

一人暮らしの生活費にあてる。

使わずに貯めて2年次以降の学費にあてる。

※学生本人名義の入金・返還専用口座を作る。(現在持っている口座でも可)

②高校での申し込みは、あくまで予約の申し込み。(あわせて予約する必要はない)

来年度進学してから進学先で申し込むことができる。(給付・貸与とも)

予約の場合進学先の学校で「進学届」等の手続きをしなければ奨学金は借りられない。

※進学しなかった場合、来年4月以降に手続きをしなければ辞退したことになる。

③いつ借りられるのか？

進学後に更に手続きをすると、来年6月～7月ぐらいから毎月入金される。

※高校生のうちは絶対に借りられないので、入学金等として利用したい場合は「入学時特別増額貸与奨学金(有利子)」に同時に申し込む必要がある。

(日本政策金融公庫の「国の教育ローン」に申し込み、融資を受けられないことが前提の制度です。)

→増額分(～50万まで)の確約があることを条件に申請することで「ろうきん」の「つなぎ融資」(入学時必要資金融資)が受けられる。ただし、予約奨学生候補者通知が届くのは12月なのでそれ以降に合格発表及び入学手続きがある場合に限る。「ろうきん」の本人開設口座にいったん入金され、その口座から直接進学先に振り込むかたちの融資であるため、合格通知・入学案内・進学先発行の振込用紙などが必要。増額奨学金入金時に利子付きで「ろうきん」に返済。

※奨学金の入金口座(生徒名義)を「ろうきん」にする必要がある。

その他

※都道府県等「母子父子寡婦福祉資金貸付金(修学支度資金)」(無利子)

母子父子家庭などを対象に入学に際し必要な経費の貸付制度(59万円以下)

もある。【各家庭での問い合わせ】

④いくら借りられるのか？

▽**第一種奨学金**(無利子貸与)・・・2年生までの評定平均が3.5以上で所得基準内。

もしくは、住民税が非課税の家庭(成績基準はない)

国公立 自宅 最高月額¥45,000 or ¥20,000から¥30,000

自宅外 最高月額¥51,000 or ¥20,000から¥40,000

私立 自宅 最高月額¥53,000 or ¥20,000から¥40,000

自宅外 最高月額¥60,000 or ¥20,000から¥50,000

※貸与額については機構で審査後選択できる金額が提示されます。

※給付奨学金による授業料の減免を受けている場合、一種の貸与月額制限されます。

▽**第二種奨学金**(利子付貸与)・・・2年生までの評定平均が上位・中位で所得基準内。

月額2～12万円の中から選択。

⑤いつから返還するのか？

卒業後7カ月目(もしくは奨学金の貸与を終了してから)、原則月賦で返還。

※返還困難な場合は減額返還や一時返還猶予の制度もある。

⑥誰が返すのか？

もちろん本人。奨学金が振り込まれていた本人名義の口座から引き落とし。

滞納すると連帯保証人(父母)や保証人(叔父叔母)に請求書が届く。

固定金利or変動金利の判断は学校ではしかねますので家庭でよく話し合ってください。

⑦給付型奨学金の対象者

給付額【月額¥9,800（国公立自宅）～¥75,800（私立自宅外）】

第一種奨学金の併用貸与の場合、第一種の貸与金額は大幅に制限される（私立の場合給付第Ⅰ区分と第Ⅱ区分に該当していると第一種の貸与額は0円で実質的に併用はできなくなるなど）ことがある。給付と貸与を併用する場合、給付＋二種（利子付き）を併用が現実的。

- 1) 住民税が非課税の世帯、生活保護受給世帯、児童養護施設や里親などの下で生活している、または経済的に困窮している世帯で、2年生までの評定平均が3.5以上の者が望ましい。
- 2) 給付型対象者は修学資金新制度により、制度の対象となっている進学先の学校において授業料・入学金の減免も同時に受けられる。いったん入学手続き時に払い込み、入学後に進学先の学校で減免の手続きを行う。
- 3) 給付額は、世帯の所得金額により第Ⅰ区分から第Ⅲ区分に分けられ決定する。ただし適格認定（家計）があり、前年度の所得金額に基づき毎年度10月に見直される。（詳しくはリーフレットまたはHP参照）
- 4) 適格認定（学業成績等）
在学する学校により学業成績などの基準に関する判定が行われ、結果が機構に報告される。場合によっては打ち切りや返還もある。

⑧申し込みに必要な書類はなにか？

- 1) 確認書（自署）
- 2) マイナンバー提出書（自署・本人と生計支持者のマイナンバー）
- 3) 申込みのてびき（スカラACで入力するための下書き） 6/14提出締め切り
- 4) 6/17(月)～6/21(金) 学校のパソコンで申込作業をします

最後に・・・

貸与型奨学金は借金です。大学等を卒業した段階で何百万もの借金を背負うことになります。令和7年6月までは入金されません。初年度の納入金はいくら必要なのか、卒業までにいくらかかるのか、きちんと調べ家族でよく話し合ってください。安易に考えずにくれぐれも借りすぎに注意してください。

機関保証制度を利用する場合、貸与期間・返済期間ともに月額保証料がかかります。

例) 二種利子付きを4年間、月額8万円借りた場合(昨年度の例)
貸与総額3,340,000→保証料月額4,324×48ヵ月＝207,552円
返還回数240回→保証料月額4,324×240ヵ月＝1,037,760円
保証料のみの合計1,245,312円

重要

審査に確実に通るよう申し込みの前に必ず日本学生支援機構のサイトでシミュレーションを行ってください。

昨年度経済的審査が理由で通らなかった例があります。